

子どもの成長のために「連携」を！

前PTA会長・新「大正学び力育成委員会」委員長

仲川久仁子

梅雨の季節になりました。皆さまお元気でしょうか？

2016年度からPTA会長として、先生方ははじめPT役員、会員、地域の皆様方に支えられながら3年間、大正中の様々な取り組み、嘗みに関わらせていただきました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

振り返ってみると、多くの課題、成果がありました。私が会長についた3年前は、まだ学校も生活指導上のいろんな課題がありました。昨年のこの紙面でも紹介させていただきましたが、当時、家族の一員になった中学生のうちの孫も、入学以来いろんな問題をおこし、周りに大変迷惑をおかけしておりました。それを何とかしないと学校や周りの生徒さんに申し訳ないという切実な気持ちで、孫の様子を見に学校へ足を運ぶようになりました。その中で、学校の中の様子がだんだんわかってきました。うちの孫だけではなく、先生方は本当に熱心に生徒さんたちに関わってくださいました。けれど、それだけが仕事ではありません。授業から、出張から、会議から、書類から、たくさんの仕事が次から次へとあり、同時進行で生徒にも関わりと、目が回るほど動き回っておられるのがよくわかりました。

先生方にだけに子どもをまかせていては学校がパンクする。家庭としても出来ることはしないといけない。そんな思いを強くもつようになり、孫が授業中、迷惑をかけていると聞けば「見張り」に行ったり、少しでも勉強にやる気が出れば担任の先生と連携を取りながら、家で勉強を夜中まで一緒にやったりというような事をしてきました。そんな事から学校と関わるようになり、この事がPTA会長をさせていただくきっかけになったのです。

PTA会長をさせていただいて、多くの事を知ることができました。日頃、教育に無関心に見えていても、実はすごく深い子どもへの気持ちをもち、しかもそれをどう子どもに伝えていいのかわからず不安と焦りをもっておられる親御さん。学校では良い子ちゃんと見られている子が家では反抗期で、子どもとのコミュニケーションで悩んでおられる親御さん。全国的にPTA活動への参加が減ってきておりましたが、時間の許す範囲で積極的に関わってくださった方、日頃の参加は少なくともいざとなった時には大きな協力をしてくれる方も多くおられました。また学校への「苦情」の相談もありました。学校に直接言うのが気がひけるということで私の所へ連絡が入りました。「“苦情”を“願い”に変えていこう」という校長先生の方針で、相談された事は包み隠さず学校へ伝えました。一つ一つの事について、先生方も誠意をもって対応してくださいり、お互いの信頼関係の大切さを思い知らされてことも何度もありました。また、そのことをきっかけに学校全体が前に進んだことも多くありました。

そんな中で、子どもの教育を学校だけにまかせるのではなく、学校・家庭・地域が手を組み、協力しながら、子どもを育っていくことの大切さを実感しました。そこで昨年度からは「3本の竹事業」をスタートさせました。これは、学校・家庭・地域“の3本の竹”が連携しながら、子どもという“樹”を支え、育てていこうという考え方で進める事業です。昨年度は、先生方がやっておられる授業研究（わかりやすい授業をするための研修）をPTAと一緒にしたり、3年生の進路学習にPTAも協力したり、何かのイベントの時には積極的に先生方と参加したりと、手探りの活動をしてきました。

先日、校長先生から5月に行われた授業参観に120の生徒数のうち、70名を越える保護者が来られたと聞きました。この数はこれまでなら考えられないとのことでした。「3本の竹事業」によって、保護者の方の学校への関心が高まっていることを校長先生と喜び合っていました。

また、今年度からは「コミュニティースクール」として、「3本の竹事業」を一步前に進めることになります。コミュニティースクールとは「家庭や地域と共に手を携えて教育活動を行う学校」として公式に認定された学校の事です。その中に「大正学び力育成委員会」という組織が作られています。ここで大正中の教育活動のいろんな事を話し合われますが、ここにはPTAからは、石口新会長が副委員長として入っていただきます。私は、委員長を校長先生から仰せつかり、微力ながら引き続き大正中教育に関わらせて頂くことになります。

先日も石口新PTA会長と校長先生とで話していたのですが、時代の変化と共に、昔なら自然にできあがっていた「つながり」というものがどんどん薄くなり、努力しなければそれが作れないようになってきています。大正の子どもの樹を3本の竹で支え、強くたくましい樹に成長させるために、皆様方のご支援、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

（「大正中だより“3本の竹”第2号より）